

各部から分泌されるホルモン

- ① 球状帯
電解質コルチコイド
アルドステロン (Na^+ 再吸収)
- ② 束状帯
糖質コルチコイド (主にコルチゾール)
→ 抗炎症, ストレスに対する低抵抗力, 抗アレルギー作用
蛋白から糖に変える (糖新生) ⇒ 血糖を上昇させる
※ 分泌過剰は 副腎性糖尿病を 引き起こす。
- ③ 網状帯
男性ホルモン (アンドロゲン)
合成 & 分泌されている

このホルモンの分泌過剰が女性に起ると、ひげや体毛が生え、声が大きくなるなど男性化が起る。

副腎質

髄質細胞 → 交感神経の節後線維
神経細胞 → 分泌細胞

ノルアドレナリン

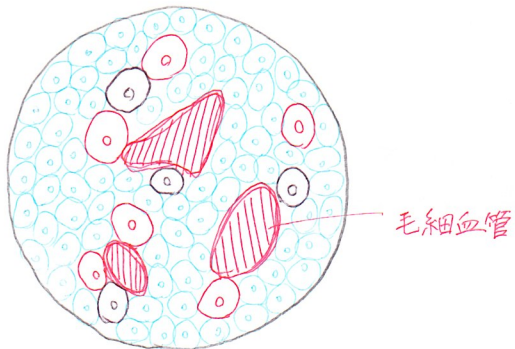
アドレナリン
ノルアドレナリン
分泌

{ アドレナリン (分泌) 細胞 → 副腎以外では合成されない
ノルアドレナリン (分泌) 細胞

血圧↑, 血糖↑, 心臓の拍動数↑
血管収縮, 散瞳, 立毛筋の収縮

膵臓: 明るい上皮細胞の集団で豊富な毛細血管が分布

大部分は消化液を分泌する外分泌腺



塩基性

B細胞 70%

酸性

A細胞 20%

塩基, 酸 どちらにもならない

D細胞 じくわすか

ランゲルハンス島

50~100万 散在

直径 100 μm